

花のチカラ 緑のココロ

2017年 春号

植物が美しく生長するとき



みなさん、お元気ですか？

日本のいろいろな地域で、いろいろな方法で、みんなで植物と一緒にしあわせになろうと園芸福祉活動を楽しんでいらっしゃいますか？

内閣府の国民生活調査（平成 24 年）によると、こころの豊かさが大切だと思っている人は 64.0%、一方、ものの豊かさが大事だと思っている人の割合は 30.1%となり、昭和 58 年（1978 年）までは、こころの豊かさとものの豊かさは互角

の割合でしたが、そこから今日までその差はワニの口が開くがごとく乖離してきました。

そんな時代にあって、平成 26 年（2014 年）6 月 20 日に国会で成立した、「花きの振興に関する法律」があります。この法律の目的は、公共施設及びまちづくりにおける花きの活用等の措置を講じ、もって花き産業の健全な発展及び心豊かな国民生活の実現に寄与することです。生活の中に花を活かす、つまり「花活」です。今や日常の生活に花を活かす園芸福祉士の活動に大きな期待が寄せられています。そう、今こころの豊かさがとても大事な価値として求められているのです。

園芸療法、園芸福祉、人間植物関係について、バイブルともいえるべき本が、Charles A. Lewis (1924 ~2003) が 1996 年に著した “Green Nature Human Nature” です。副題には、『私たちの生活における植物の意味』が記されています。

講座テキスト『園芸福祉入門』のなかで、この本の一部をディズニーランドの緑化の意味と関連して紹介しています。幸運にも静岡と広島の二人の園芸福祉士の方々が原著に注目して下さり、約 10 年の月日を経て邦題『植物と人間の絆』として上梓できました。戦争や災害の被災地の復興の処方箋として、多くの人々と園芸福祉活動の意味に共感し、2020 年には累計 10,000 人の初級園芸福祉養成講座への参加を目指して、さらなる普及に努めたいと思います。

1981 年にルイスは、ワシントンポストのインタビューにこのように応えています。

“植物が生長するとき、人はその美しい植物よりも、もっと美しい人として成長している” と。

園芸福祉士の皆さんにはこの体験を通して、植物と一緒にみんなでしあわせになっています。



理事長 吉長 成恭 (よしなが はるゆき)

お知らせ



第 16 回 園芸福祉シンポジウム in おきなわ

～ホッと、美ら結い、おーきな輪！～



2017 年 7 月 8 日（土）13：30～ 沖縄県那覇市に於いて開催
講演やワークショップ、翌日は見学会もあります。

詳しくは案内チラシをご覧ください。

また、NPO の通常総会を当日同会場で、午前に開催いたします。

正会員の方には、5 月初旬に総会案内をご送付いたします。

◆船橋市『暮らしを彩る趣味の園芸』を終えて

平成28年11月から12月まで、千葉県船橋市八木が谷公民館にて暮らしを彩る趣味の園芸講座（全5回）を開催いたしました。この講座は日本園芸福祉普及協会が船橋市認知症予防講座「楽しく始める園芸」として船橋市より委託を受け開催したものです。4名の園芸福祉士が二人一組のペアを組み、五感を刺激することをテーマに毎回工夫を凝らしたプログラムを行いました。園芸が初めての方からもベテランの方からも「園芸を楽しむ良いきっかけになった」との感想をいただき、参加者にとって園芸がより親しみやすいものになりました。いつまでも元気で暮らしていくためには、花やみどりと一つでも触れ合える環境を整えることが大切ですね。



◆講師 園芸福祉士 本田早苗さんより／

今回、船橋市で初めての「園芸講座」を担当させていただきました。講座を担当するのは初めてで、どんな方たちが参加するのか少し不安でしたが、参加者の皆さんにお元気で、こちらが圧倒されるほどアクティブな方たちでした。講座内容もどうすれば喜んでもらえるか迷いました。が参加者は作品づくりを楽しんでやっていた様に思いました。12月の忙しい時にもかかわらず、5回の講座では物足りないと言っていただき、担当したものとして満足して終わりました。

◆講師 園芸福祉士 高仁順さんより／

船橋の「暮らしを彩る趣味の園芸」にサポート役として参加させていただきました。第2回の講座の日は大雪で中止になるかも、電車が動かないかも、皆さんいらっしゃるのかななど、心配しながら行った所、足元が悪い中全員参加でとても嬉しかったのを覚えています。そんな皆さんの園芸福祉に対する熱意、興味を持って、夢中になるのを見て私自身が逆に癒されたりやりがいを感じました。講師の方々の様々なやり方や知識を見て勉強させていただいている。これからも頑張っていきたいと思います！

◆高齢者住宅で園芸福祉活動の輪広がる

近年、サービス付高齢者向け住宅の開設が全国各地で増えています。サービス付高齢者向け住宅（サ高住）とは、「高齢者住まい法」に基づき、高齢者が安心して生活できる住まいづくりを推進するために創設された制度で、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携し高齢者の安心を支えるサービスを提供する住宅をいいます。

東京都内ではサ高住での園芸福祉活動の輪が広がってきました。日本園芸福祉普及協会では、今後、サ高住での園芸福祉活動を積極的にサポートにしていきたいと考えております。現在、サ高住で活動されている会員の皆様におかれましては、ぜひ活動アンケートにて活動状況をお知らせください。



◆活動プログラムのご紹介

ハーブの中には抗菌・消臭作用のあるものがあります。ローズマリーやラベンダーを使って、靴の中にに入るシューズキーパーを作りましょう。



◆シューズキーパー

材 料

布 18×18 cm 2枚、ドライハーブ（ローズマリー、ラベンダー）、
レース糸（レインボーカラー）、リボン 6mm 幅 40 cm、
ティーパック（大）、両面テープ



作り方

- 1 ティーパックにお好みのドライハーブを入れる。
- 2 布の裏面の片側一方に両面テープを貼る。
- 3 1を巻き作るように布に包みこみ、端を両面テープでとめる。
- 4 左右の両端をレース糸でしっかりと結び止める。
- 5 同じものをもう一つつくる。
- 6 リボンで二つを結ぶと出来上がり。



◆新しい園芸福祉士の仲間たち

昨秋、園芸福祉士に認定された方々をご紹介いたします。今後のご活躍を期待しています。



この春のおすすめの一冊

「週末ファーマーのすすめ クラインガルテン入門」

TABILISTA 編集部著 双葉社 1,500円+税



ドイツ語で「小さな庭」を意味するクラインガルテン。菜園のそばに「ラウベ」と呼ばれる簡易宿泊施設を擁した滞在型市民農園を日本ではクラインガルテンと呼ぶ。都会に暮らし、週末は田舎で農を楽しむ。太陽の光を浴び、表情豊かな雲を見上げる。土とふれ合い、色とりどりの花に囲まれ、ふと汗をぬぐえば鳥や虫たちと一緒に呼吸している自分がいる。そんな自然の恵に囲まれたクラインガルテンの扉を開いてみませんか。

協会行事カレンダー

4月 初級園芸福祉士認定試験発表
資格更新手続き締切

5月 初級園芸福祉士資格登録手続き締切

6月 年間活動アンケート提出締切

7月 総会・シンポジウム
(8日 於:沖縄県那覇市 沖縄県市町村自治会館)

9月 園芸福祉士認定審査

10月 園芸福祉士認定者発表

2月 初級園芸福祉士認定試験

3月 資格更新手続き開始

詳細や日程についてはHPで最新情報をお知らせしていますのでそちらをご確認ください。



求む！各地・各人の活動情報

地域組織や個人の園芸福祉活動の情報を事務局宛にお送りください。また、下記 mail アドレスにご連絡ください。会報などは PDF ファイルを添付してメールしていただければ皆様に広報させていただきます。

HP アドレス : <http://www.engeifukusi.com/>
mail アドレス : kyoukai@engeifukusi.com

正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、N P O 法人です。N P O 法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内 70% 以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

おすすめの一冊

ただ今、会報で紹介させていただくおすすめの本を募集しています。みなさんのおすすめの一冊をぜひお知らせください。ただし、園芸福祉に関連する、あるいは関連すると思われる本に限らせていただきます。お待ちしています！！

編集後記



以前、おすすめの一冊でご紹介したプラントハンターの西畠清順氏が制作するモニュメント「江戸富士」が東京ミッドタウンに出現。素材は街路樹などの剪定材をチップ化したバーク堆肥などを使用し、イベント終了後は都市開発の堆肥として再利用されるそう。5月 28 日まで無料で一般公開されます。プロジェクトマッピングは 4 月 16 日まで。六本木に出現した“富士山”を見に行ってみてはいかがですか。(今井)

2016 年の 8 月に、オーストリア・ウィーン市で市民農園国際大会が開催され、仲間 7 名と参加してきました。今回の大会は、オーストリア協会の設立 100 周年記念行事あり、4 日間に会議や見学、観光、晩餐会など盛りだくさんのスケジュールでした。

オーストリアは、ドイツ語圏なので市民農園は『クラインガルテン』と呼ばれています。ところが、ウィーン市のクラインガルテン（直訳すると「小さな庭」）は、大きくて、立派です。どのくらい立派かと言うと、平均的なもので、1 区画の敷地面積が 400 m²、小屋は地下室付きの二階建て、総床面積 100 m² 以上あります。庭は芝生と花壇で自家用プールがあり、区画は塀や生け垣で囲まれています。高級住宅とは、駐車場が各区画に設けられていないだけしか外観の違いがありません。そこは、農作業の場ではなく、暮らす場所住まいになっています。

この立派なクラインガルテンは、街の歴史の中で貢献し、獲得した規制緩和なのですが、今の利用者達はこの権利を当たり前として行使しています。この姿勢は、欧州各国の市民農園仲間から批判されるだけでなく、ウィーン市民から受け入れられているとは思えません。ウィーンに限らず欧州では、都市における市民農園の必要性が問われており、存在価値を打ち出すことが大会会議の大きなテーマもありました。

クラインガルテンはさておき、ウィーンは素敵な街です。美術、音楽、お菓子は一級で、食事もドイツより数段上の「大人の街」です。この街に行く機会があれば、ドナウタワーに昇ってきてください。ウィーン旧市街が一望出来るだけでなく、足下近くに庭のプールが光るクラインガルテンがご覧になります。（粕谷）

N P O 法人日本園芸福祉普及協会

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58

T E L : 03-3266-0666 F A X : 03-3266-0667